



チャレンジプラン最終報告

2010/2/13

早稲田レスキュー



目次

- 本プランの目的
- プラン概要
- スケジュール
- 各イベントの内容と報告
- 成果
- 課題・展望
- 謝辞



本プランの目的

- ①地図を使わないまち歩きの実施
- ②幅広い団体が一堂に会した
コミュニケーションの場の創出
- ③大人と子ども視点を交えた
防災マップへのブラッシュアップ



プラン概要

- 大人と子どもの異なる視点で、まち歩きと成果の記入を繰り返し、地域の課題の明確化と解決を目指す
- 既存の「防災キャンプ」「防災訓練」というイベントを、世代別の課題発見の手段として関連性を作る
- 実践の第一弾として「早稲田防災アカデミー」を創出し、行政・地域・大学・学生が一体となって地域の課題を発見する

スケジュール

時期	活動	詳細
09年6月	防災キャンプの企画立案	事前のまち歩き①
09年7月	防災キャンプの企画調整	主催者の商店会との意見交換など
09年8月	8、9日 防災キャンプ	人数が集まらず中止
09年9月	企画の見直し	行政、商店会、町内会、大学それぞれと打ち合わせ 事前のまち歩き②
09年10月	企画のブラッシュアップ チャレンジプラン中間報告	行政、商店会、町内会、大学それぞれと打ち合わせ 事前のまち歩き③
09年11月	16日 早稲田大学防災訓練 23日 早稲田防災アカデミー	防災訓練：一般学生の防災意識を高める、防災アカデミーの広報 防災アカデミー：本プランの核となる企画 地図なしオリエンテーリング、体験防災学習、シンポジウムを実施
09年12月	マップの作成 最終報告書の作成	オリエンテーリングで得られた情報を元に成果物である地図を作成
10年1月	マップの作成 最終報告書の作成	オリエンテーリングで得られた情報を元に成果物である地図を作成
10年2月	チャレンジプラン最終報告	



早稲田防災アカデミー

- 地域防災に関わる諸団体が一堂に会する場の創出を目指して開催
- 参加者同士のコミュニケーション促進とまちを広く見ることを期待し、「地図なしオリエンテーリング」を企画
- 目玉である「地図なしオリエンテーリング」の他、「体験防災学習」、「シンポジウム」を実施



実施方法

- 1、学生が事前にまち歩きを実施、課題を把握
- 2、課題を紙の指令にまとめ、地図なしでオリエンテーリング
- 3、コーディネータが課題を振りながらコースを回り、こちらの用意した課題点を見つけていく
- 4、用意した課題以外で気づいた点を挙げてもらう
- 5、挙げた問題点について、行政の視点や専門家の視点、地域住民の視点で議論をしてもらう
- 6、ポストイットに気づいた問題点を記入してもらい、オリエンテーリング後のシンポジウムで意見交換する

活動風景①



当日は、地域住民や学生の他に、新宿区職員、耐震協の方、消防団員にもご参加いただいた。



コーディネーター(右)が参加者の学生(左)とチェックポイントを確認。

活動風景②



工事現場の危険性について、耐震協の方から説明を受ける。



オリエンテーリング実施の中で、異なる団体同士のコミュニケーションも生まれた。



得られた成果

■ 地図なしでの実施

参加者同士のコミュニケーションが活発に行われ、相互の問題意識・情報交換が実現

■ 得られた情報

マップにまとめ、今後他の地域イベントにフィードバックする予定



課題

■ 計画性がなかった

企画段階から準備、実施までの全てに渡って計画性が不十分であった

■ 大学の参加が見送られた

組織内でのコンセンサスが取れていない状態での発言はできないとして断念した

■ 住民参加が不十分

事前の告知規模に比べて、住民の参加が少なく、十分に意見が反映されているとは言いがたかった

わせだのぼうさいまちはっけんマップ 早稲田の防災まち発見マップ

まちのチェックポイント

下のばんごうとかんけいする場所に線を引いてね。
書いてないことを発見したら、下の空白にメモしよう。



- ①道ぞいの消火器（しょうかき）を見つけて
- ②見つけにくい消火器はどこにある？
- ③大通りでは、どんな危険（きけん）がある？
電線（でんせん）、ガラス、落下物（らっかぶつ）は危ないかな？
- ④消火器のあんないで面白いものはある？
- ⑤こうしゅう電話の使い方はわかる？
お金はいるかな？
- ⑥じどうはんばいきの重さはどうかな？
- ⑦ふくろこうじ（行き止まり）はいくつある？
- ⑧通学路へ進め

発見したことをメモしよう

大人が発見したこと

- ・動物用のケージが足りない。
地しんがあったとき、かくれるところが動物にもひつようだね
- ・新じゆく区には消火器は4000本あるよ
でも、だれかのいたずらでこわれてしまい、一年で3000万円のお金がかかっているよ
- ・消火器の位置をもっとわかりやすく地図に書かないとわからないね

今後の展望②

- 「消火器へのイタズラ被害」や「被災時のペット用ケージ不足」といった地図に表れない情報に対し、啓蒙ポスターを書く・簡易ケージを作るなど、地域防災イベントのプログラムに組み込み解決を図る





謝辞

■ チャレンジプラン実行委員会の皆様

■ 「早稲田防災アカデミー」協力諸団体様

新宿区危機管理課・新宿区耐震補強推進協議会・
新宿消防署・新宿消防団・早稲田大学周辺商店連
合会・周辺町内会

ありがとうございました

早稲田レスキュー 一同